

医療法人純正会
名豊病院
2025プラン

令和 3年 11月 策定

【病院の基本情報】

医療機関名：名豊病院（現在 豊田新成病院）

開設主体：医療法人純正会

所在地：愛知県豊田市竹元町荒子15番地

許可病床数：250床

（病床の種別：一般病床50床、療養病床200床）

（病床機能別：急性期機能50床、回復期機能50床、慢性期機能150床）

稼働病床数：150床

（病床の種別：一般病床50床、療養病床100床）

（病床機能別：急性期機能50床、回復期機能50床、慢性期機能50床）

診療科目：内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、皮膚科、
リハビリテーション科

職員数：213名

- ・ 医師 10名
- ・ 看護職員 99名
- ・ 専門職（歯科医師・薬剤師・コメディカル） 55名
- ・ 事務職員 49名

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

(人口の見通し)

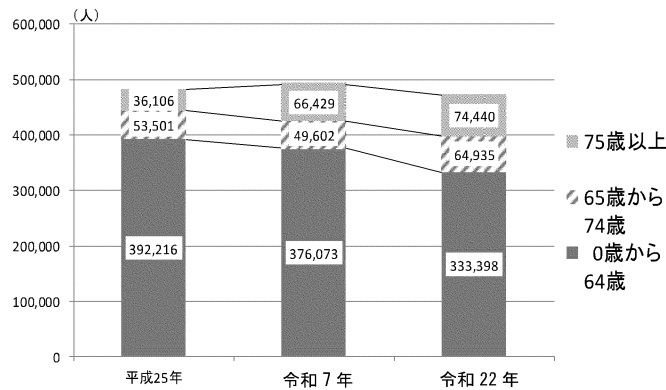
- 総人口は、令和7年(2025年)には微増し、令和22年(2040年)には微減します。65歳以上人口は、県全体の増加率を大きく上回って増加し、増加率は県内の2次医療圏で最も高くなっています。特に75歳以上人口は、令和22年(2040年)には平成25年(2013年)の2倍になると見込まれています。

<人口の推移>

※ () は平成25年を1とした場合の各年の指数

区分	総人口			65歳以上人口			75歳以上人口		
	平成25年	令和7年	令和22年	平成25年	令和7年	令和22年	平成25年	令和7年	令和22年
県	7,434,996 (1.00)	7,348,135 (0.99)	6,855,632 (0.92)	1,647,063 (1.00)	1,943,329 (1.18)	2,219,223 (1.35)	741,801 (1.00)	1,165,990 (1.57)	1,203,230 (1.62)
西三河北部	481,823 (1.00)	492,104 (1.02)	472,773 (0.98)	89,607 (1.00)	116,031 (1.29)	139,375 (1.56)	36,106 (1.00)	66,429 (1.84)	74,440 (2.06)

<西三河北部構想区域>



(医療資源等の状況)

- 人口10万対の病院の病床数は、県平均の73.3%と少なくなっており、療養病床は61.1%と特に少なくなっています。人口10万対の医療従事者数については、医師数が県平均の70.5%と少なくなっています。
- DPC調査結果(DPC調査参加施設:2病院)によると、構想区域内において、ほぼ全ての主要診断群の入院及び救急搬送実績があり、緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・脳卒中・重篤な外的障害)及び高齢者の発生頻度が高い疾患(成人肺炎・大腿骨骨折)の入院実績があることから、区域内に急性期入院機能を有していると考えられます。
- 消防庁データに基づく救急搬送所要時間については県平均とほぼ同様であり、DPC調査データに基づく緊急性の高い傷病(急性心筋梗塞・再発性心筋梗塞、くも膜下出血・破裂脳動脈瘤、頭蓋・頭蓋内損傷)の入院治療を行っている施設までの移動時間は、30分以内で大半の人口がカバーされていますが、東部の地域においては、所要時間が長くなっています。
- 高度な集中治療が行われる特定入院料の病床については、平成28年3月現在、構想区域内(2病院)において、救命救急入院料・特定集中治療室管理料(ICU)・新生児特定集中治療室管理料(NICU)・新生児治療回復室入院医療管理料(GCU)の届出がされています。
- 平成25年度(2013年度)NDBデータに基づく特定入院料の自域依存率は高い状況にあります。

<医療資源等の状況>

区分	愛知県①	西三河北部②	②/①
病院数	325	18	—
人口10万対	4.4	3.7	84.1%
診療所数	5,259	260	—
有床診療所	408	17	—
人口10万対	5.5	3.5	63.6%
歯科診療所数	3,707	183	—
人口10万対	49.9	38.0	76.2%
病院病床数	67,579	3,211	—
人口10万対	908.9	666.4	73.3%
一般病床数	40,437	1,929	—
人口10万対	543.9	400.4	73.6%
療養病床数	13,806	547	—
人口10万対	185.7	113.5	61.1%
精神病床数	13,010	729	—
人口10万対	175.0	151.3	86.5%
有床診療所病床数	4,801	221	—
人口10万対	64.6	45.9	71.1%

区分	愛知県①	西三河北部②	②/①
医療施設従事医師数	14,712	672	—
人口10万対	197.9	139.5	70.5%
病床100床対	20.3	19.6	96.6%
医療施設従事歯科医師数	5,410	281	—
人口10万対	72.8	58.3	80.1%
薬局・医療施設従事薬剤師数	10,525	605	—
人口10万対	141.6	125.6	88.7%
病院従事看護師数	36,145	1,927	—
人口10万対	486.1	399.9	82.3%
病床100床対	49.9	56.1	112.4%
特定機能病院	4	0	—
救命救急センター数	22	2	—
面積(km ²)	5,169.83	950.51	—

(入院患者の受療動向)

○ 入院患者の自域依存率は、4機能とも80%前後と高くなっています。

<平成25年度の西三河北部医療圏から他医療圏への流出入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

患者住所地	医療機関所在地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
西三河北部医療圏	高度急性期	20	*	*	21	*	*	*	192	*	13	*	*	*	246
		8.1%	—	—	8.5%	—	—	—	78.0%	—	5.3%	—	—	—	100.0%
	急性期	34	*	*	49	*	*	*	590	10	33	*	*	*	716
		4.7%	—	—	6.8%	—	—	—	82.4%	1.4%	4.6%	—	—	—	100.0%
	回復期	30	*	*	36	*	*	*	542	35	42	*	*	*	685
		4.4%	—	—	5.3%	—	—	—	79.1%	5.1%	6.1%	—	—	—	100.0%
慢性期	17	0	0	39	0	13	*	359	*	32	0	11	*	471	
	3.6%	—	—	8.3%	—	2.8%	—	76.2%	—	6.8%	—	2.3%	—	100.0%	

<平成25年度のお他医療圏から西三河北部医療圏への流入入院患者の受療動向>

(単位：上段 人/日、下段：%)

医療機関所在地	患者住所地													合計	
	名古屋	海部	尾張中部	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西三河北部	西三河南部東	西三河南部西	東三河北部	東三河南部	県外		
西三河北部医療圏	高度急性期	*	*	*	*	*	*	*	192	*	*	*	*	*	192
		—	—	—	—	—	—	—	100.0%	—	—	—	—	—	100.0%
	急性期	*	*	*	11	*	*	*	590	21	12	*	*	*	634
		—	—	—	1.7%	—	—	—	93.1%	3.3%	1.9%	—	—	—	100.0%
	回復期	*	*	*	12	*	*	*	542	20	14	*	*	*	588
		—	—	—	2.0%	—	—	—	92.2%	3.4%	2.4%	—	—	—	100.0%
慢性期	29	*	0	26	*	*	16	359	14	23	0	0	*	467	
	6.2%	—	—	5.6%	—	—	3.4%	76.9%	3.0%	4.9%	—	—	—	100.0%	

② 構想区域の課題

- 令和 22 年(2040 年)まで 65 歳以上人口の増加率が県全体と比べて著しく高いため、令和 22 年(2040 年)までの医療需要の増大を見据え、必要な医療需要や医療従事者の確保を始めとする包括的な医療提供体制を中・長期的に考えていく必要があります。
- へき地対象地域を抱えており、面積が広大なため救急搬送所要時間も長くなっており、医師を始めとする医療従事者の確保や救急搬送体制の充実などへき地医療を確保する必要があります。
- 回復期機能の病床を確保する必要があります。

③ 自施設の現状

- 当院は急性期機能、回復期機能、慢性期機能を有する病院として、入院・外来診療の他、透析センター（40ベッド）、健診、通所リハビリ機能を有し、地域医療の充実に寄与してきました。入院患者は、トヨタ記念病院や豊田厚生病院から急性期を過ぎた患者のほか、近隣の病院からも療養患者を受け入れています。
- 平成30年4月の開設以来、看護師など職員確保が困難だったため、2階急性期病棟（50床）、6階回復期病棟（50床）、3階・4階慢性期病棟（100床）の200床稼働、5階慢性期病棟（50床）は休棟でのスタートとなりました。令和元年9月に更なる職員不足から2階急性期病棟（50床）を休棟し、150床稼働となっております。令和3年10月、4階慢性期病棟（50床）を急性期病棟に転換し、現在許可病床250床の内、急性期病棟（50床）、回復期病棟（50床）、慢性期病棟（50床）の150床稼働となっております。

1) 理念と基本方針

- (1) 純正会理念：良質で安全な医療サービスを安定的に提供し、地域社会に貢献します
- (2) 純正会方針：患者様の尊厳を保持し、温かく快適な医療環境を提供します
地域の皆さまに信頼される医療機関として、発展・向上していきます

(3) 名豊病院方針：

- ①心の触れ合いを大切にしながら、地域に密着した医療を提供します
- ②患者様の人権とプライバシーを尊重し、安全な医療を提供します
- ③地域医療の充実のため、他の医療機関との積極的な連携を推進します
- ④職員は医療水準の向上を図り、全職種がチーム一丸となって診療に取り組みます
- ⑤安心して快適に療養できる環境の整備をめざします
- ⑥職員は共に協力し合い、心をつなげて働き甲斐のある病院づくりに努めます

2) 自施設の診療実績

	2018年度	2019年度	2020年度
許可病床数（床）	250	250	250
入院患者数（人/日）	84	134	121
平均在院日数（日）	23	33	49
病床稼働率（%）	33.6	53.6	48.4

④ 自施設の課題

- この医療圏では2040年まで65歳以上の人口の増加率が県全体に比べ高いと予想されていますが、現状の一般病床数、療養病床数は県平均を下回っています。
- 当院の病床稼働率は、開設後3年を経過しても依然として上昇していないが、職員不足による医療提供体制の整備が進んでいないことが原因のため、地域に求められている入院医療は、引き続き回復期機能、療養機能が中心であると認識している。
- 急性期医療を受けた後の患者の早期受け入れと、充実した回復期機能、慢性期機能を持つ病院として、当院の役割を維持していくことが必要と考えます。

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

- ・ トヨタ記念病院や豊田厚生病院の後方病院として、急性期医療を受けた患者の早期受け入れ機能を充実するとともに、近隣医療機関・介護保険施設、自宅からの入院受け入れにも対応していく必要があるため、回復期機能・慢性期機能を有する病院としての役割を今後も果たしていく。
- ・ 一次、二次救急の受け入れ体制を構築し、地域医療へ貢献していく。

② 今後持つべき病床機能

- ・ 現在の急性期病棟、療養病棟は一定程度維持する必要がある、地域の医療ニーズに合わせて、回復期機能を提供する病棟の維持に努めていく。

③ その他見直すべき点

- ・ 現在の休床病棟について、出来るだけ早期に人員体制を整え、休床分にあたる患者受け入れを実現していく。
- ・ 人員確保について、法人グループ内の異動や勤務調整、新規採用の他、令和5年3月(2023年3月)末をもって名古屋市立緑市民病院の指定管理が終了することから、そこでの配置人員を職員体制に加えていくことで、より安定的な人員確保に努めていく

【3. 具体的な計画】

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (令和元年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	50床		50床
回復期	50床		50床
慢性期	150床		150床
(合計)	250床		250床

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標
2021年度	○合意形成に向けた協議	○自施設の今後の病床のあり方を決定（本プラン策定）
2021～2022年度	○休床病棟の開棟	○療養病棟50床の開棟
2023～2025年度	○休床病棟の開棟	○療養病棟50床の開棟

② 診療科の見直しについて

○構想区域内に提供施設が少ないため、脳神経外科および泌尿器科を新設

○現在、当法人が名古屋市からの指定管理で運営している名古屋市立緑市民病院が令和5年3月末をもって、指定期間が終了することから、そこでの人員を異動させることで人員確保を行う予定。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持	内科、外科、整形外科、 耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、 皮膚科、リハビリテーション科	→	内科、外科、整形外科、 耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、 皮膚科、リハビリテーション科
新設		→	脳神経外科、泌尿器科
廃止		→	
変更・統合	なし	→	なし

③ その他の数値目標について

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度～
許可病床数(床)	250	250	250	250
入院患者数(人/日)	150	200	225	225
病床稼働率(%)	60%	80%	90%	90%
外来患者数(人/日)	150	200	250	250